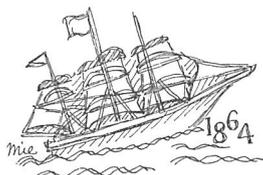


DOSHISHA REPORT



法人部

●2007年度同志社総長賞表彰式

同志社総長賞は本法人が、スポーツ活動および文化活動の国際大会、国際コンクール等において入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童、園児に対して、総長がこれを顕彰することを目的として2003年度から設けた。

2007年度は、大学長からの推薦で3人と2グループ（8人）、国際中学校・高等学校長からの推薦で1人、小学校長からの推薦で1人の計13人の受賞者

を決定した（巻頭グラビア参照）。

表彰式は、3月29日評議員会終了後に大学神学館礼拝堂で行った。大谷實総長の式辞、野本真也理事長の祝辞があり、大谷實総長から受賞者にそれぞれ表彰状と副賞として図書カードが贈られた。

●同志社キリスト教教育講演会

3月31日、新入社員を対象に、同志社の建学の精神、同志社の歴史、同志社のキリスト教主義等を理解する機会を提供することを目的として、大谷實総長と本井康博大学神学部教授を講師とし、大学寒梅館で同志社キリスト教教育講演会を開催した。大谷實総長は「同志社の教育理念と教学体制」、本井康博大学神学部教授は、「大学の品格―敢えて風雪を侵して―」を演題に講演した。新入社員はもとより、出席者は改めて同志社の建学の精神等に想いを馳せ、有意義な時間を過ごした。

●2008年度入社式

4月3日、大学神学館礼拝堂において入社式を行った。本年度の採用は、大学教員69人、女子大学教員25人、高等学校教員1人、香里中学校・高等学校教員4人、女子中学校・高等学校教員3人、国

際中学校・高等学校教員3人、中学校教員2人、小学校教員4人、幼稚園教員1人、大学職員12人の計124人である。大谷實総長と野本真也理事長が歓迎のことはを述べ、野本理事長が一人ひとりに辞令を手渡した。

●2008年春の叙勲並びに褒章

元大学教授の松本仁助氏が瑞宝中綬章を受章し、5月12日国立劇場大劇場において伝達式が行われた。また、大学教授の井原康夫氏が、紫綬褒章を受章した。

大学

●京田辺校地井水利用を開始

1月8日、2007年5月に開始した井戸掘削工事が水質検査などを経て完成。汲み上げた地下水を試飲し、供給を開始した。4月に開講した生命医科学部、スポーツ健康科学部の新校舎へは公共水道だけに頼らず一部自給することを目的とした。さらに災害時の水源確保をも考慮し、対応ができる設備、機能をそなえているのが特徴。想定では、京田辺校地の約40%の上水を補う計算。

●現代G Pシンポジウム「学びの原点 —プロジェクト型教育の挑戦!!—」

2月13日、明德館で開催。第1部は「プロジェクト科目の目指すもの」をテーマにプログラムの説明と事例報告・展示発表。学生全員による座談会ではプロジェクト科目の学習効果について適切・的確に伝えることができた。第2部は、「PBL型教育の可能性について」のシンポジウム。同志社大学は参加した教育関係者に多様で本質的な議論を投げかけPBL型教育の拠点校として着実な一歩を記した。

●ビジネス研究科「伝統産業グローバル 革新塾」塾生製品展開催

「革新塾」は、京都の伝統産業に従事する若手研究者にビジネス教育を提供することにより、歴史ある京都の地から新たな文化ビジネスを生み出し、これをグローバル展開する目的をもつプロジェクトで文部科学省の助成を受けている。3月8日、寒梅館アトリウムに、手書き友禅生地を使ったマグカップ、ピアノ鍵盤デザインの扇子など革新的な製品を展示、販売した。

●特色G Pシンポジウム「成績評価の厳格化とその支援システム」

3月10日、文部科学省「特色ある大学教育プログラム」採択による取組の一環として明德館で開催。基調講演は「教育の評価がいかにしてティーチングと学生の学びの向上につながるか」。シンポジウム参加大学の事例報告の後、パネルディスカッションを開催。参加者を変え成績評価の厳格化に関する活発な議論を展開した。

●追悼記念礼拝

JR福知山線脱線事故および福島でのバス事故から3年目を迎えた。4月25日、今出川校地は同志社礼拝堂、京田辺校地はラーネット記念図書館前の青空チャペルで事故による犠牲者の方々への哀悼の意を込めて祈りのひと時を持った。

●文系全学部の1・2年次教育を今出川 校地に

文系全学部の授業は1986年4月京田辺校地開校により2校地を利用し実施。2013年4月から文系全学部1・2年次生の主たる学習校地を今出川校地とすることを決定した。先行して2009年4月神学部と社会学部の主たる学習

校地を今出川校地に統合することを決定し、受験生に周知した。

●言語文化教育研究センターの組織再編 と新学部設置の基本方針（抜粋）

言語文化教育研究センターの教育研究組織を2分割し、今出川校地と京田辺校地のそれぞれに学部を新設する。今出川校地には2013年、「アジア地域、アメリカ地域、ヨーロッパ地域」などを対象とする学際的・総合的で国際的な地域理解能力をもつ人物の育成に特化する学部」を、京田辺校地には2011年、「実践的な外国語運用能力に卓越した人物の育成に特化した学部」としている。その背景は、2013年度以降、今出川校地7学部、京田辺校地5学部の外国語教育を担うべき組織と教育の質の保証。

●DOSHISHA SPIRIT WEEK 2008 春

6月2日から7日まで両校地でキリスト教文化センターが開催した。期間中カレッジソングの指導、講演会、展示を中心に、「私学」「新島襄」「歴史、ルーツ」「精神」など同志社を知るための一週間。

●障がい学生支援に関わる教職員研修会

在籍している聴覚、視覚、肢体不自由、内部、重複障害のある学生が、健常学生と等しい条件のもとで充実した教育と学生生活を送るには教職員の理解が必要である。6月23日、講師を招き、学習主体としての学生に、何ができ、何をしなくてはならないのか再考した。

●心理学部開設記念公開講演会

8月23日、シラキユース大学心理学部のジョシユア・M・スマイス教授を招き「ストレス、情動、行動、そして健康…21世紀の心身医学」をテーマに講演会を開催した。物理的・社会的な変化に対して人はどのように反応をするのか、そうした反応が生理的変化や行動選択をどのように導くのか、それらが健康にどのような影響を及ぼすのかについての解説と、日本における健康科学の推進に果たす重要な役割について論じた。

女子大学

●女子大学ブランディング

2007年度に教育理念の根幹をなす

〈Spirit〉を基本に、使命として育む女性像「古きを大切に、新しきを生きる。

リベラル・アーツとともに品格と良心をもつて、ゆたかな世界づくりに寄与する女性」を示した〈Mission〉を作成した。そのMissionを実現するための具体的な実践プラン〈Action〉として、2008年4月に、携帯型のブランディングリーフレット（クレド）と名札を制作した。クレドには、女子大学のSpirit、Missionとその解説、新島襄の遺言などを記載し、嘱託講師、業務委託業者を含めキャンパス内で働く全教職員に配付した。名札は、英語表記で、氏名と部署名、裏面にはMissionを記載しており、いつでも育む女性像を確認できるようにしている。これらは、女子大学が目指す女性教育の方向性について全教職員が意識を共有し、社会に有為な女性を育成していこうという思いを込めている。

●ラッピング電車

2008年4月から、福井県と香川県に女子大学のラッピング広告電車が登場し、地元の注目を集めている（巻頭グラビア参照）。福井鉄道は、越前市から福井市中心部を結び、高校生やお年寄りの

生活の足となつている私鉄電車。車両の外装、内装の床にはスクールカラーの紫を基調に桜の模様をあしらひ、中吊りにはオープンキャンパスのポスター、ラックには「大学案内」などの大学資料を備している。8月2〜4日の福井フェニックスまつりの開催にあわせ、女子大学のうちわを配布、好評を博した。高松琴平電鉄では、高松市内から金刀比羅宮を結ぶ最も乗降客の多い琴平線を走っている。車両には、本学の校舎のイラスト、讃岐うどんを食すご当地V.I.V.I（女子大学キャラクター）のデザインを描いた。いずれも2両編成の電車が1年間に渡り沿線を走る。

●現代こども学科から多くの小学校教諭を輩出

2004年に開設した現代こども学科1期生がこの2008年春に巣立った。卒業生のうち、46人が公立小学校教員採用試験を受験。内32人（実人数）が二次試験に合格し、この4月から全国各地の小学校で教壇に立っている。こどもを取り巻く環境を幅広く理解し、地元の小学校との交流イベントやさまざまなボランティア活動を通して、教員として必要な

資質を身につけたことが教育に活かされることになる。

●**永年栄養士養成教育功労校として表彰**
食物栄養科学科管理栄養士専攻では、毎年卒業生がほぼ全員管理栄養士国家試験を受験し多くの合格者を輩出している。2008年3月卒業生80人のうち78人が、第22回管理栄養士国家試験を受験し、75人が合格した。女子大学の合格率は96・2%（全国平均合格率31・6%）。また、多年に渡る栄養士養成に尽力した功績を評価され、6月12日、（社）全国栄養士養成施設協会から、永年栄養士養成教育功労校として表彰された。

すでに4年次生は先輩たちに続けと、卒業論文制作と並行して国家試験の準備に入っている。来年も全員合格を目指して、担当教員一同全面的なバックアップ体制をとって指導にあたっている。

高等学校

卒業式

3月10日
第60回卒業式を挙行し、392人の生徒が母校を巣立った。特に3年間無遅刻、

ないが、秋の文化祭（「岩倉祭」）でクラス演劇を行う3年生は、演劇制作の立場からも学ぶところが多かった。

1年生クラス合宿

7月15・16日
「寝食を共にし、語り合い」を通してクラスの親睦を図る目的で行った。クラスごとに選ばれた実行委員が中心となって計画し、クラス全員が協力するという高校生として理想的な形をとることができた。4月に入学した1年生も遠足や球技大会で親睦を図ってきたが、このクラス合宿によって「クラス作り」が仕上げの段階に入ったと言える。

ウエスリー交換留学

7月20日～8月6日
16年目となるオーストラリア、メルボルンのウエスリーカレッジとの短期交換留学。今年度は応募した14人の生徒から男子3人、女子6人が選ばれ、本校を代表して海を渡った。秋には同カレッジから留学生を迎え、渡豪した生徒の家族が日本でのホストファミリーをつとめた。

無欠課、礼拝皆出席の生徒の真摯な努力を顕彰し校祖新島襄の「庭上之一寒梅」に因んで設けた「寒梅賞」の受賞者は昨年度のほぼ2倍にあたる11人を数えた。岩倉キャンパスのチャペルは中高統合事業の一環として建て替えられるため、長年親しまれた現行チャペルでの卒業式は今回で最後となる。

学校スキー

3月12～16日
最近参加者が減少傾向にあったが、今回は前回を上回る37人の参加があり、スキー、スノーボードの技術向上は勿論、参加者相互の親睦を大いに深めることができた。

遠足

5月2日
滋賀や京都のキャンプ場を行き先とし、クラスごとに生徒主体で計画を立てて行われた。全クラスが飯ごう炊さんを行い、調理に昼食にレクリエーションにと楽しい時間を過ごすことができた。新学期最初のクラス行事で、クラスメイトがお互いをよく理解し合う有意義な場となった。

花の日礼拝・施設訪問

6月19・20日
庭の花を捧げてくださいと生徒に呼びかけ、集まった花を壇上に上げ、自然の

香里中高

高2修学旅行

1月28日～2月2日
今年から高2修学旅行は三学期に行うことになった。ハワイ・オアフ島は常夏の島とはいえず、1月下旬は多少肌寒さを感じた。マキキ聖城キリスト教会での交流、ハワイの大学生との交流プログラム、アリゾナ記念館での平和学習、グループ別の自主研修など思い出に残る修学旅行となった。

卒業式

3月7日
高等学校
3月18日
高等学校
高等学校の卒業生がそれぞれの希望を胸に巣立っていった。

ヌエバ中学交流

3月22～30日
6人の生徒が参加。現地でホームステイをしながら、ヌエバ中学校と交流した。

アメリカカボストン交流

3月25日～4月3日
アメリカカボストンにて、校祖新島襄の足跡を訪ね、フィリップス・アカデミー、アーモスト大学などを訪問した。19人の

美しき、命の輝きをたたえる花の日礼拝を持った。20日の放課後にはその花を携え、生徒有志16人、教員5人がバプテスト・ホームを訪問。ホザナコーラス部員はこの日のために練習してきた3曲を演奏し、美しいハーモニーでホームの方々と共に幸福な時間を過ごした。「折からの夕立の中をよく来てくれた」と歓迎を受け、帰り際にはお互いに別れを惜しんで立ち去りたいほどの交流となった。

球技大会

6月3日
かなりの降雨にもかかわらず準備を重ねてきた苦勞を思い決行した。午前中は全く止む気配もなく、一時は中断も検討したが、生徒の熱意が通じたのか、決勝戦が行われる頃にはすっかり雨も上がり、大いに盛り上がった。教育実習の期間と重なり、実習生と生徒が一体となって応援する姿がグラウンドや体育館で数多く見られた。

団体鑑賞

7月10日
演出家として活躍する卒業生が率いる劇団の演劇を大学寒梅館ハーティホールを会場として2、3年生が鑑賞した。演目は「東京タイタニック」。享受者として大いに感動を味わえたのは言うまでも

生徒が参加した。

入学式

4月8日
入学式を行い、中学校266人、高等学校310人の新入生を迎えた。

自転車安全講習会

4月17日
今年初めて自転車安全講習会を行った。寝屋川警察から3人の警察官が来校。自転車通学者約300人の生徒に対して自転車の乗り方の講習会を行った。

校祖墓参・オリエンテーション

4月23～25日
4月24～25日
中学1年生
高校1年生

4月23日、中学の新入生は校祖墓参後、岡山県美作市湯郷に向かい2泊3日のオリエンテーションを行った。スポーツ大会や体験学習を通して友達作り、クラス作りができた。また高校1年生は4月24日から近江八幡休暇村にて、1泊2日のオリエンテーションを実施し、琵琶湖博物館の見学、近江八幡市内の散策、飯ごう炊さん等を通してクラス作りを行った。24日の朝はかなり激しい雨が降っていたため、当初予定していた校祖墓参は中止して近江八幡休暇村に向かった。

中3狂言鑑賞

5月1日
香里園にある能楽堂で狂言を鑑賞し

た。演目は「附子」と「柿山伏」。

●又エーバ校生徒の交流

5月10～17日

アメリカサンフランシスコのヌエーバ校から7人の生徒が来校。本校生徒宅にホームステイをし、交流した。

●スポーツ大会

中学校

5月28日

高等学校

5月29日

教育実習の期間中、ドッチボール、バスケットボール、卓球、フットサル、ソフトボールの各種目ごとにクラス対抗で開いた。中学、高校ともに天候に恵まれ、教育実習生とともに一日楽しく汗を流すことができた。

●オープンキャンパス

6月1日

小学校6年生を対象に15教室に分かれて体験授業と施設見学会を開いた。天候にも恵まれ、4年生、5年生およびその保護者も含めて約1400人が来校し、大盛況のオープンキャンパスとなった。

●高2文楽鑑賞

6月12日

日本橋にある国立文楽劇場にて文楽を鑑賞した。演目は「五条橋」・「絵本太功記」。

した。

●入学式

中学校(248人)

高等学校(266人)

4月9日

今年は中学校に初めて「自己推薦入試」で合格した43人(LAコース)が入学した。

●女子部創立記念礼拝

4月17日

創立132周年記念礼拝に前同志社同窓会長の坂本清音先生を講師に迎え、「同志社女学校はどのようにして始まったか」と題して、お話しを聞いた。

●芸術鑑賞

6月10日

京都コンサートホール 中学1年生から高校3年生まで全校生徒が京都市交響楽団の演奏で(指揮・高関健氏)、モーツアルトの「ピアノ協奏曲第20番」(ピアノ土肥知子)とベートーベンの「交響曲第7番」を鑑賞した。

●遠足

5月15日

中学2年生から高校3年生が遠足を行い、クラスの親睦を深めた。主な行き先は、中2「東映大森映画村」、中3「琵琶湖博物館」、高1「万博公園・民族学博物館」、高2「長浜市黒壁スクエア」、高3「伊賀の里モクモクファーム」

女子中高

●マンドリンクラブ

MUSICA MANDOLINO

合奏コンクール優勝

12月24日、東京で開かれた第2回コンクールは、中高生から社会人まで幅広い年代の団体が出場した。テープ審査による予選を通過した4団体が本選に出場



マンドリンクラブの演奏

●中学1年生修養会

5月15～17日

ユニトピアささやま

「同志社で学ぶ！自分を見つめ、友達を理解して隣人になろう」を主題に修養会を行なった。礼拝と団体生活やゲームを通して、同志社教育の根幹であるキリスト教主義の教育と「友達を理解すること」について学んだ。

●国際交流

米国サンフランシスコのヌエーバ校との交流とホームステイに、中学3年生の7人が参加した。(3月22～30日)。ヌエーバ校からも日本への卒業旅行の一環として、法人内の各中学校で体験入学とホームステイを行ない(5月10～17日)、6人の生徒が来校した。生徒たちは授業や課外活動に参加し、ホームパーティーや観光など通して各家庭と交歓し、交流を深めることができた。

高校2・3年生はイギリス・ケンブリッジのベルスクールで(30人7月27日～8月10日)、また中学2・3年生は今年から始めたオーストラリア・アデレードのアネスリーカレッジでの研修で(25人7月30日～8月9日)、それぞれ語学研修とホームステイを体験した。

(本校以外はすべて一般団体)、ボルツォーニ二作曲の「序曲 神の御心のままに」を演奏して優勝。上村朋子さんが最優秀指揮者賞を獲得した。

●「数検」グランプリ 金賞(団体賞)受賞

3月2日

日本数学検定協会(会長甘利俊一)主催「2007年度 第14回実用数学技能検定」の「中高一貫教育校部門」で、優秀な成績を収めグランプリ金賞を受賞。

●卒業式

高校卒業式(261人)

2月22日

中学卒業式(249人)

3月17日

●修学旅行・スキー学会

中学2年生は3月18～20日の2泊3日の日程で九州の長崎方面に、高校2年生は3月18～21日の3泊4日の日程で沖縄へ。それぞれが被爆体験者やひめゆり部隊の生存者の講話を通して平和の大切さを学ぶとともに体験学習を中心に楽しい修学旅行の思い出を胸に刻むことができた。

スキー学会は、3月18～22日まで、例年通り北志賀・竜王スキー場で高校1年生の希望者約90人を対象に講習会を実施

●球技大会

高校生は5月14日、中学生は6月18日に球技大会を実施し、バレーボール、ドッジボール、ポルトボール、バスケットボールに各学年の覇を競った。

●花の日礼拝・施設訪問

6月13日

生徒が家庭から持ち寄った花で壇上をいっぱい飾り、錦林教会牧師・ベスタロッチ保育園園長の糸井国男先生を迎え、「迷子の羊」と題して奨励をお願

いした。また聖歌隊の合唱、ハンドベルの演奏による賛美礼拝をもった。午後は

高校1年生が自分たちでつくった花束と

生徒・教職員の献金を持ち、養護施設・

老人ホーム・病院・保育園等24カ所を訪

問し、交流した。

高校2年生は「高齢者福祉」について、

福祉と療養の第一線で活躍されている卒

業生を招き講演を聞いた。

国際中高

●入寮宣誓式

4月4日

高校の新入生で両親がまだ海外に在住していたり、通学困難な遠隔地にいる生

徒たちのために用意された学寮に、49人の新入寮生を迎えた。

●入学式

4月4日
中学生107人、高校生274人（いずれも編入学生を含む）の新入生を迎え、新島記念講堂で入学式を行った。

●又エバスクール交換プログラム生徒受け入れ

5月10～17日
法人内4中学合同の行事である又エバスクール交換プログラムの生徒受け入れを、今年度も実施した。10日のウエルカムセレモニーや授業参加、15日には共通のプログラムである「ワダイコ・ナイト」、さらに最終日の修了書授与などを行った。

●高1宿泊研修・校祖墓参

5月8・9日
同志社で学ぶ意味や建学の精神を学ぶ宿泊研修を、「ウエルサンピア京都」で実施した。プログラムの最後に若王子を訪れ、新島襄の墓前で入学を報告した。

●中1宿泊研修・校祖墓参

5月12・13日
同志社で学ぶ意味や建学の精神を学ぶ宿泊研修を、同志社びわこリトリートセンターで実施した。プログラムの最後に

若王子を訪れ、校祖新島襄の墓前で入学を報告した。

●中学遠足

6月13日
雨で一日順延となったが、1年生は宇治天ヶ瀬ダム周辺、2年生は「海遊館」、3年生は山城森林公園に出かけ、梅雨の晴れ間、校外での学習を満喫した。

●高校球技大会

6月13日
雨で一日順延となったが、「バレーボール大会」を実施した。

●オープンスクール

6月14日
高校入学前の生徒を対象に、オープンスクールを実施。多彩な体験授業や入試相談会などを行った。

●ローレンスビルスクール交換プログラム生徒受け入れ

6月14日～7月12日
隔年実施の留学交換プログラム。アメリカ、ニュージーランド州のローレンスビルスクールから5人の生徒を受け入れた。

●中一体験学習

6月27・28日
中学1年生が「花脊山の家」で体験学習を実施した。キャンプファイヤーや野外炊飯など多彩なプログラムで、自然に触れる時間を楽しんだ。

山・能「大会」を鑑賞した。

●オープンキャンパス

6月7日
好天の中オープンキャンパスを開催した。2000人を超える来校者は、礼拝や模擬授業など多彩なプログラムに参加した。

●花の日礼拝

6月10日
関谷直人教授（大学神学部）を招き守った。放課後、生徒会執行委員、ホザナコーラス部、ハンドベル部、ピースリンク部の生徒たちが花を携えて「船岡寮」を訪問し、合唱やハンドベル演奏などを通じて交流のひとときを持った。

●全校バレーボール大会

6月19日
天候が心配されたが、無事にバレーボール大会を行うことができた。グラウンドに歓声がこだまする一日であった。

小学校

●同志社タイム 落語の世界に触れよう

2月20日
同志社大学出身の落語家、桂雀喜氏（本名長坂堅太郎氏）を迎えて落語を聴く機会を持った。初めて落語に触れる児



キャンプファイヤー

中学校

●3年生HR委員研修会

4月11・12日
同志社びわこリトリートセンターにて、3年生各クラスのHR委員と執行委員生徒が、学園祭をはじめとする1年間の生徒会活動について方針を検討した。

●オリエンテーションキャンプ、創立者墓参

4月16～18日
1年生の最初の行事として、4クラスに分かれて実施した。オリエンテーションキャンプでは同志社について学び、クラスの仲間との飯ごう炊さんを通して仲間づくりのひとときを持った。創立者墓参では、新島襄の墓前に集い入学の報告

童も多く、小道具の説明に興味をもち、三味線の音色にも熱心に耳を傾けた。

●ひな祭り茶会

2月29日
4年生の児童が京都市左京区の花懐石京料理店「下鴨茶寮」にて関西エリアの大学茶道部で組織される裏千家学生茶道研究会が主催する「ひな祭り茶会」（実行委員長 同志社大学）に招待され、一碗を楽しんだ。点心席では、春の食材で美しく盛られた雛膳をおいしく頂いた。ひな祭りを通して茶道と日本文化に触れるよい機会となった。



ひな祭り茶会

●入学おめでとうの会

4月19日

ワールドローバー活動(同志社小学校の縦割り異学年活動の名称)として新1年生を迎える「入学おめでとうの会」を開催した。

少し緊張した様子のかわいい新1年生を全校生で迎え、2〜5年生の児童は新入生の入学とともに喜び、上級生になる自覚と責任を感じることができた。続くワイルドローバー号の結団式では、各号ごとにメッセージカードを交換して新しいグループの仲間と親睦を深めた。



なかよし遠足(校祖墓参)

●なかよし遠足

4月25日

1年生と5年生が、一緒に校祖墓参に出かけた。5年生が1年生に校祖新島をはじめ同志社墓地に眠るさまざまな方を解説した。

●同志社タイム 大学応援団によるステージ

5月22日

応援団と一緒に「Doshisha Heroes」「若草萌えて」「同志社アトム」などを元気いっぱい歌った。今回初めて入学した児童たちは、同志社カラーを感じる機会となった。

●2年生花背山の家宿泊体験学習

6月2・3日

2年生の宿泊体験学習を花背山の家で行った。北山杉に囲まれた小道を、目的地を目指して入所ハイキングをした。

現地では、館内オリエンテーリングやキャンドルフアワーを楽しみ、2日目は、築200年という北山民家でのちまき作りを体験した。

●特別礼拝

6月12日

宗教強調週間の特別礼拝として、三重県愛農学園農業高校から小泉道子先生を迎えた。礼拝音楽を中心とした歌を身振り手振りも交えて一緒に歌い、歌を通して

て神を讃美する楽しい礼拝となった。

●5年生北海道宿泊体験学習

6月24〜28日

5年生が北海道に宿泊体験学習にでかけた。関西空港を出発した児童たちは、北海道長沼町の提携民家にグループごとに分かれてホームステイした。農業体験は、北海道の大自然に触れる貴重な体験となり、ホームステイ先の皆さんと親交を深めることができた。選択体験プログラムのもと、最後は函館に結集し、新島先生ゆかりの地を散策して、校祖に思い



5年生北海道宿泊体験学習

をはせることができた。

●3年生ハチ高原宿泊体験学習

7月2〜4日

3年生が夏のハチ高原に宿泊体験学習に出かけた。1日目は、ツリークライミングやナイトハイクを楽しみ、2日目には高原のすがすがしい空気を吸いながら、登山に挑戦した。ハチ高原には、4年生がこの冬にスキーを体験するために出かける予定になっている。夏と冬の高原の様子の違いをそれぞれの学年で体験することになる。



3年生ハチ高原宿泊体験学習

幼稚園

●終業式

12月19日

●同志社クリスマスチャリティコンサート
12月21日

●始業式
1月9日

●校祖墓参
1月16日

年中・年長組の園児が市バスに乗り若王子を訪れ、新島襄の墓前で礼拝を行った。

●同志社幼稚園後援会・親睦会

1月19日

後援会の企画による年長親子参加。みたらし団子を作って炭火で焼き、美味しくいただいた。

●創立110周年記念お祝い会

1月25日

創立110周年を祝い、保護者企画の記念会が行われた。第一部は、歌のコンサート、第二部は、全園児親子参加で白と杵で餅をつき、つきたての餅をおいしくいただいた。

●同志社小学校との交流会

1月29日

年長組が同志社小学校1年生の教室を

訪れ、ゲームや給食の時間を共有する交流を持った。帰り際には別れを惜しみ、春の再会を楽しみにして帰途についた。

●自然・生きもの観察

2月1日

全園児で滋賀県の琵琶湖博物館を訪れる。観察や体験コーナーを通し、琵琶湖の生態を興味深く学んだ。

●団体鑑賞

2月4日

京都テルサへ劇団飛行船マスケブレイミュージカル「ピーターパン」の演劇鑑賞を行った。大ホールでの歌と踊りの迫力ある舞台に、子どもたちは大喜びであった。

●参観日

2月13・15・20日

日頃の保育生活と集団での学びの姿を保護者が参観。

●園外保育社会体験「ハッ橋作り」

2月19日

年中・年長の園児が、本家西尾ハッ橋本店でハッ橋作りを体験した。

●卒園お茶会

3月3日

年長児が卒園を記念し、お茶を点ててお運びするなど一年間の稽古の成果を保護者に披露した。

●マラソン大会

3月6日

全園児が京都御所で、毎日練習してきた